

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業 点検・評価調査

4-V-1

4-V-1

4-V-1	章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	来訪者の保全意識の啓発
	節	V. 来訪者マナーの醸成		
	事業(施策)名	1 見学マナーの啓発	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
	事業実施期間	H28~R4	関連団体	佐渡市観光振興課
事業概要	【事業目的】	○構成資産の保全のため、来訪者による構成資産へのき損や落書き、遺物・鉱石等の持帰り等がないよう、来訪者の保全意識の啓発を図る。		
	【事業内容】	○来訪者の保全意識を高めるため、注意喚起を目的としたサインの設置を行うとともに、構成資産を見学する際の来訪者マナーについて普及啓発活動を行う。		
30 事業計画と実績	【30年度計画】	●平成29年度に作成した一般向けの見学マナー醸成用のチラシを佐渡汽船や関係施設等に設置するほか、ホームページ上で見学マナーを公開することで、現地見学時における来訪者マナーの周知を図る。		
	【30年度実績】	●見学マナー醸成用のチラシを関係施設等に設置したほか、ガイドンス施設開館イベントの周知に伴いホームページ上に公開した。		
課題・今後の取組	【課題】	■引き続き、来訪者に向けた見学マナーの周知徹底を図る必要がある。		
	【今後の取組】	■ガイドンス施設等で見学マナーの周知徹底を行う。		
事業評価	【事業の達成度】	◇計画どおり目標を達成できたことからBとした。 [a ○ b ・ c]		
	【事業実施の効果】	[a ○ b ・ c]		
	【総合評価】	[A ○ B ・ C]		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。